

人財マネジメント力

安全な操業の徹底

アルミニウムの圧延事業は、圧延時に使用する潤滑油が飛び散り滑りやすかったり、大型の設備を扱ったりするなど、危険をともなう労働環境です。そのため、UACJは安全の徹底を重要視し、「従業員の安全・衛生・健康はすべてに優先する」という考えのもと、全員参加の安全衛生活動を推進しています。

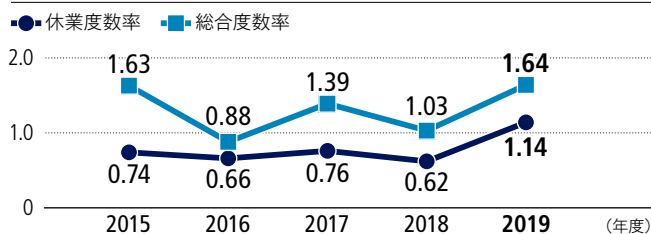
本質安全化に向けては、危険・有害要因を徹底して排除するためにさまざまな切り口から作業を洗い出し、リスクアセスメントを実施。安全化対策は、アセスメントにより判定されたリスクレベルの高い施設・設備、作業方法から優先して実行しています。残存しているリスクについても漏れなく暫定対策を実施しています。

また、安全衛生に関する知識教育や危険体感教育、管理者

向けの安全衛生教育などを行い、安全最優先の企業風土の醸成、人財育成を進めています。

こうした取り組みの結果、労働災害発生件数は経営統合以降、低位で推移しています。

労働災害の発生状況



能力を最大限に発揮できる組織づくり

UACJには、約1万人の従業員がいます。それぞれが国籍や文化、言語、性別はもちろんのこと、生活環境も異なっており、多様なワークライフバランスが存在しています。そのため、当社ではどのような事業であっても彼らが持てる能力を発揮しやすい環境を整備しています。その一つとして、育児支援・介護支援の各種制度を順次、整備しています。また、働き方改革も進めており、生産性とエンゲージメントの向上を目標に掲げ、各部門が積極的に自主改革活動を展開。2019年度は各職場が計106件のテーマに取り組みました。生産性については、各部門でKPIを定めて、会議・資料作成の効率化に取り組み、エンゲージメントについては、同年度に初めてエンゲージメント調査を行い、その

結果を踏まえた改善活動に着手しました。

また、2019年度には400名近い社員の意見を集め、グループ理念体系を再定義しました。今後、当社の進むべき方向を明確に示すことで、より目的意識を持ってものづくりに取り組んでいきます。



グループ理念に込めた思い、目指す姿の浸透を図る社長との直接対話会を国内の製造拠点で開始。今後、グローバルに展開します。

VOICE

管理職として、会社と共に成長

現在、購買部門でシニアマネージャーとして部下13名の管理を一任されています。購買は、工場の生産計画や損益に深く関わり、慎重さが求められる仕事です。その重要性を部下と共有し、私自身もスキルを高めながらUATHの成長に貢献していきます。UATHにはほかに会計・財務の部門にも女性のマネージャーがいて、ジェンダー平等の風土を感じています。



Laksanai Aranyakornkun
UACJ (Thailand) Co., Ltd.
Senior Manager, Procurement Dept.